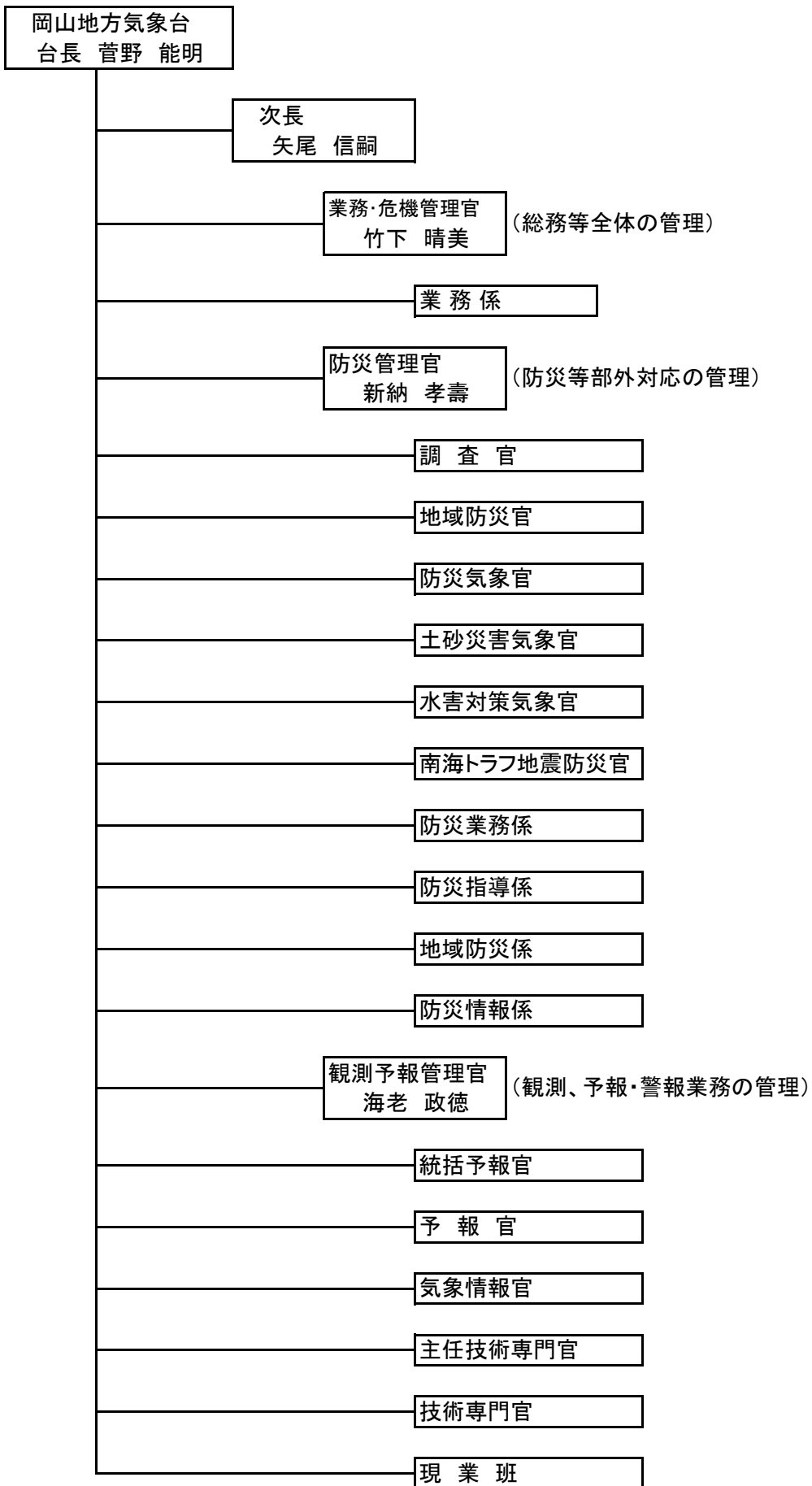


沿革

- 明治23年11月15日 岡山県立二等測候所として旧岡山城本丸に設立
- 明治29年 1月 1日 岡山県測候所と改称
- 明治29年 6月 1日 岡山市内山下58番地に庁舎移転
- 昭和13年10月 1日 国営移管(文部省所管)岡山測候所となる
- 昭和18年 1月 1日 中央气象台津山観測所業務開始
- 昭和24年 4月16日 岡山市津島に庁舎移転
- 昭和32年 9月 1日 岡山地方气象台と改称
- 昭和38年10月 1日 岡山地方气象台「岡山空港分室」を設置
- 昭和42年 7月15日 岡山空港分室を岡山空港出張所と改称
- 昭和57年10月 1日 岡山地方合同庁舎に移転
- 平成14年 3月 1日 津山測候所を津山特別地域気象観測所に移行
- 平成18年 4月 1日 岡山空港出張所を関西航空地方气象台に移管
- 平成25年 5月16日 岡山空港出張所を岡山空港連絡室に改称
- 平成25年10月 1日 気象庁訓令第10号による組織改正(管理官制への移行)
- 平成27年 3月 5日 露場を岡山大学構内に移設

組織及び業務実施体制図

令和4年4月1日現在



※ 通常は上記の3つのグループに分かれて業務を行っている。